



山口県地域景観ワークショップ通信第 11 版

防府市宮市・国衛地区編

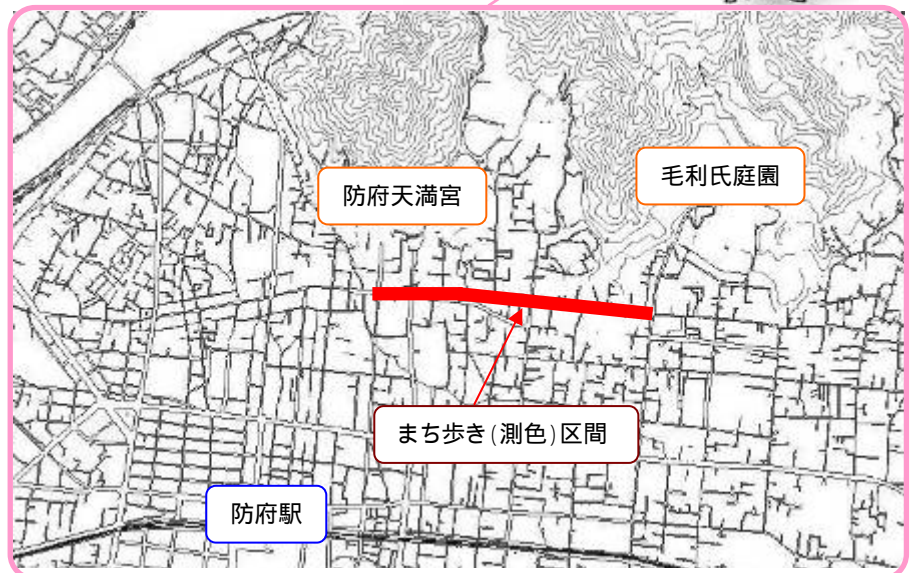
- 3 月に防府市で開催しました地域景観ワークショップにご参加いただきまして、大変ありがとうございました。
- カラーコーディネーターによる景観にまつわるセミナー、景観を探して歩いたタウンウォッチング、そして、壁新聞づくり。
- 防府市のイメージカラーを尋ねたところ、防府天満宮をイメージする赤や朱が多く、その他としては梅の赤や桃、自然の緑や青をイメージする方がおられました。
- 雨の中のまち歩きとなりましたが、まちの色を測色してみて色彩について習得いただけただけでしょうか？ 晴れの日、他の季節ではどんな色に見えるのでしょうか？
- 参加した当日を思い出して、みなさまの身のまわりを少し眺めたり、歩いてみてはいかがでしょうか。見慣れた風景のなかからたくさんの魅力を発見できるかもしれませんよ。

防府市宮市・国衛地区

開催日 3月9日(日)

場所 防府天満宮大専坊

参加数 37名(6グループ)
地元在住の方、地元建築士、市外在住の方など様々な立場の方が参加されました。



ワークショップの目的と当日の作業について

【目的】







今回の地域景観ワークショップ（以下WS）は、旧山陽道の毛利氏庭園入り口から防府天満宮までを対象にした色彩をしらべるWSを行いました。景観を眺め、宮市・国衙地区の旧山陽道らしい色とはどのような色なのかを把握することが目的です

普段の生活では、なにげなく見過ごしているものにも注意を払い、いつもよりも違う視点から、また違う角度からまちの色についてしらべてみます。

色彩は、景観を構成する重要な要素であり、周囲との関連性を無視した色を使うと、地域の景観を壊してしまいます。旧山陽道らしい色を把握し、今後のまちづくりに生かしたいと思います。

【各班の作業概要について】

班編成及びまち歩き（測色調査）

グループ名	測色調査対象物
 【1班6名】 水路・道グループ	道路は、アスファルト、参道の石畳、土の道等、色々あります。サンプルを沢山とります。
 【2班6名】 自然・寺グループ	自然は、木、芝生、水、川の流れ、花等、色々あります。サンプルを沢山とります。お寺は国分寺、萬行寺他の色彩を調査します。
 【3班6名】 塀・石垣グループ	塀はレンガ、コンクリート、木等、色々あります。サンプルを沢山とります。
 【4班6名】 屋根グループ	古い建物や、新しい建物の屋根等、色々あります。サンプルを沢山とります。建物の後ろに見える瓦やスレートも調査します。
 【5班7名】 壁グループ	建物の壁は、白壁、土壁、板壁等、色々あります。サンプルを沢山とります。
 【6班6名】 天満宮グループ	天満宮の見所は、参道、鳥居等、色々あります。サンプルを沢山とります。

【役割分担及び記録方法】

各班ごとに、まち歩きをしていただき、与えられた課題の測色を行います。日ごろ気づかない発見があるかもしれません。

作業手順

まち歩き測色調査の役割分担を決めます。（測色係、記録係、写真係、案内係）

まち歩きしながら測色となる対象物を見つけたら、地図に場所を記録し色見本に記入してあるマンセル番号を記録します。通し番号等をふるなど記録の仕方に工夫します。

色見本による調査は1箇所につき、色の違うところで3通りは測ります。

測色調査対象物をインスタントカメラで撮影します。



【 色分布図作り】

測色した結果を分析するために、色分布図を作成します。測色した箇所の色の傾向、まちの色の傾向などを把握することができます。

作業手順

色分布図（色相 - 彩度）は、測色したマンセル記号の色相を横軸、彩度を縦軸として、交わる位置に丸ポチシールを貼ります。

測色した対象物ごとに線で囲んで傾向を読み取ります。

色分布図（色相 - 明度）も同様に行います。



【 色彩壁新聞作り】

まち歩きで感じたことや、色分布図から読み取れる傾向などを壁新聞にまとめます。

作業手順

旧山陽道まち歩きマップに、測色した場所を示す丸ポチシールを貼ります。

撮影した写真を貼り合わせ、色チップを作成します。

色分布図、色チップ、まち歩きなどから感じた旧山陽道らしい色の特徴を、箇条書きでまとめます。

旧山陽道らしい色を、配色カードから5つ選んで色チップを作ります。

壁新聞にグループ名とメンバー名、タイトルをつけて完成です。



最後にグループ別に発表します。頑張るぞ～！

マンセル色相環について



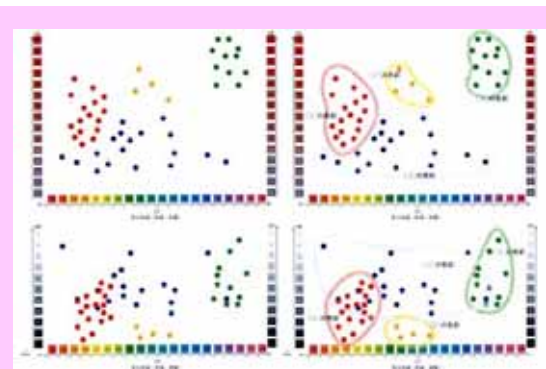
アメリカの画家マンセルが色を系統的に整理するために創案した体系です。マンセルシステムは色相・明度・彩度の三つの属性を順に記号化して表します。

色相：色味のことでR(赤)・Y(黄)・G(緑)・B(青)・P(紫)の5主要色と中間にとった YR,GY,BG,PB,RP の10色を環状にならべます。左図はさらに細分化して10Y,10GY,10G・・・と記号で表し20色相になっています。

明度：色みがなく、あざやかさをもたない無彩色を0とし、理想的な黒を0、理想的な白を10とし、その間の明るさの段階を、感覚の差が等間隔になるように分割して、10/,9/,8/,・・・の記号で表します。

彩度：色相・明度が一定に配列において色みのない無彩色を0とし、色みのさえたの度合いに従って等歩度に1,2,3,4・・・のように順次増すように設定し、1/,2/,3/,・・・の記号で表します。

色分布図の例について



余談・・・ (色と光について)

太陽が沈み、日が暮れて光がなくなると色が見えなくなります。光によって色を感じることができなくなるからです。「光とは何か」という疑問を現代科学の祖として称される17世紀の物理学者ニュートンが光学的な実験の結果、明らかにしました。プリズムを用いた実験の結果、光とは波長の異なる光（電磁波）の集合体であることを発見しました。ニュートンは晴れた日に暗室の壁に穴を開けそこから導いた光をプリズムに当て、スクリーンに映し出しました。そこには虹が映し出されていました。（赤・橙・黄・緑・青・藍・青紫）また、7色を全て集めるともとの光となることも明らかにしました。

ニュートンは偉い！！

【各班の壁新聞と発表】

1班 水路・道グループ

測色調査の結果を色分布図に表すと…



テーマ「道に未知あり水路に色あり」



まとめ

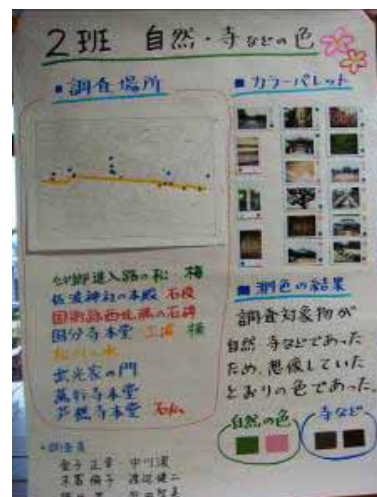
全体的には、明るいけど淡い
 (彩度は低い・明度は高い)
 道は赤からオレンジ系の色が多い。
 水路は青のイメージだが実は緑や赤。
 (水の色ではなく植生と石垣の色)

2班 自然・寺グループ

測色調査の結果を色分布図に表すと…



テーマ「自然・寺などの色」



まとめ

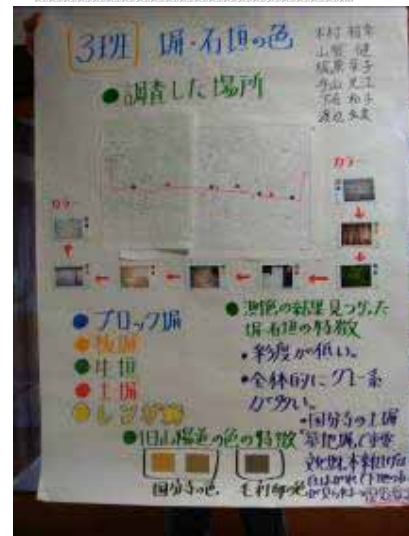
調査対象物が自然・寺などであったため、
 想像していたとおり色であった。
 (一般的な色)

3班 塀・石垣グループ

測色調査の結果を色分布図に表すと・・・



テーマ「塀・石垣の色」



まとめ

彩度が低い。
 全体的にグレー系が多い。
 国分寺の土塀「築地塀」は重要文化財。
 本来仕上げは白、はがれて下地の赤が見られる。 歴史を感じる

4班 屋根グループ

測色調査の結果を色分布図に表すと・・・



テーマ「防府旧山陽街道の屋根」



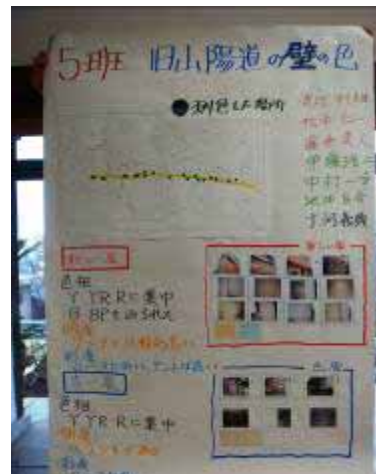
まとめ

古い家は彩度が低い。
 全般的に彩度はあまり高くなく落ち着いたが、新しい家は比較的高い。
 スレート系の屋根は彩度が低く瓦は無彩色が多い。
 色相は古い家も新しい家も傾向は同じ。
 色相はR - YとBG - PBに固まっている。

5班 壁グループ

テーマ「旧山陽道の壁の色」

測色調査の結果を色分布図に表すと・・・



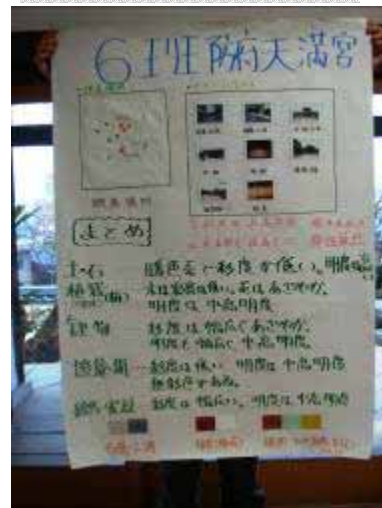
まとめ

- 新しい家 色相 Y・Y R・Rに集中 B・B Pもみられた
 明度 7～9と比較的高い
 彩度 0～3と低い テントは高い
- 古い家 色相 Y・Y R・Rに集中
 明度バラツキがある
 彩度 0～3と低い

6班 天満宮グループ

テーマ「防府天満宮」

測色調査の結果を色分布図に表すと・・・



まとめ

- 土・石 暖色系で彩度が低い。明度は高い。
- 植栽(楠、梅) 木は彩度は低い。花はあざやか。
 明度は中高明度
- 建物 彩度は幅広くあざやか。明度も幅広く中高明度。
- 灯笼・塀 彩度は低い。明度は中高明度。無彩色がある。
- 絵馬・家紋 彩度は幅広い。明度は中高明度。